



小規模校のよさを生かす飯地小の伝統を継承する

校長 三輪 太雄



自分たちが学んできたことを工夫して伝えることができた「いいじっ子発表会」。低学年（※左上下写真）・中学年（※中右上写真）・高学年（※中右下写真）それぞれが、教科の学習や総合的な学習の時間で学んだことを劇化する等、さまざまな工夫を凝らし、保護者・家族・地域の多くの方々の前で、見事に発表しました。

一人が何役もこなします。大道具や小道具係も全員です。一人一人がたくさんの長いセリフや振り付けを覚え、道具も作ります。低学年の発表では、一人で算数のたし算・ひき算・かけ算の問題を答える場面もあります。その子の保護者や家族の皆さんもドキドキです。大人数の学校では考えられないことです。少人数の学校だからこそできることであり、大変ですが、その分多くの大切な力が身に付いています。保護者の方々からも、ありがたい感想をいただきました。

- ◇各学級ごとの発表、それぞれテーマがしっかりしていて興味深いものでした。特に5・6年生の時代劇を思わせる飯地の歴史についての発表は、とても素晴らしかったと思います。ナレーションの子どもたちの語り口も、はきはきとしていて、史実を正確に伝え、とてもわかりやすかったです。
- ◇小学校に入学しての初めての発表会、ドキドキしながら見ていました。よくあんなたくさんの長いセリフをおぼえて言えたなあと感動しました。飯地小の子どもたちの絆の素晴らしさを感じました。
- ◇毎年ですが、小道具や大道具を頑張って作っているなあと感じます。少ない人数なので、なおさら感心します。舞台を見て演技だけではなく、一人一人が自分の役割や責任を自覚して頑張っていることがわかりました。先生方には、脚本作りやご指導、ありがとうございました。
- ◇子どもたちが一年間どんなことを学んできたかがよくわかる発表でした。人数が少ないので、一人一人の出番が多いですが、どの子も堂々としていて、自信をもって発表していたと思います。「どの学校にも負けない子どもたちに育っているなあ」と嬉しく思いながら見ていました。
- ◇9年間参観させていただいた「いいじっ子発表会」も最後の参観となった今年。毎年のことながら、全校児童がわかり、強くかわりのある子もいること等から、どの学年の時にも同じ目線で参観できます。今後も小規模校ならではのよい部分を引き出してくださる学校として、この発表会にかぎらず、運動会やさまざまな行事に、地域の方々にも参加・参観いただけると嬉しいです。

「自分に与えられた役割を自覚し努力して確実にやり遂げること」「自分の思いや考えをわかりやすく相手に伝えること」「仲間と協力し工夫してひとつのことを成し遂げること」、そして「ふるさとのことを知り、ふるさとを愛し、ふるさに貢献していこうとすること」…、飯地小の子どもたちは学級の仲間と学び活動しながら、上級生の姿を手本とし教えられるながら、社会でよく生きていくために必要となる多くの力を確実に身に付けていっています。少人数の学校のよさを生かした飯地小の伝統（風土）が、確実に引き継がれ、一人一人を育てていっているのだと私は思っています。今後も、そのよき伝統を継承し、さらに発展させるよう努力していきます。

最後になりましたが、子どもたちに多くの貴重なことを教えていただいた、伊東祐朔様・山口鉦一様・楠捷之様・館林英子様・林精子様、ご来場いただき、子どもたちに温かい言葉をかけていただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

○歯科講話

11月4日



学校歯科医の可知先生と歯科衛生士の皆さんの協力で、5、6年生が歯周病予防などの学習をしました。歯垢の中にうごめく菌を顕微鏡で見て、みんなビックリ！毎日ていねいに歯磨きしようと強く決意しました。

○命を守る訓練

11月5日



命を守る訓練では、地震発生を想定した訓練でしたが、消防団の方にご協力頂きました。消防団の目的やしごとについて教えてもらい、プールの水を使った放水体験もしました。私たちの生活を、陰から支えてくださっている人たちがいることに気づくことができました。

○美化委員会出張作業

11月5日



委員会活動で、「いつもお世話になっている振興事務所の掃除に行こう。」という声が子どもたちから上がり、わずかな時間でしたが、張り切ってぞうきんがけをしました。事務所の方々に喜んでいただき、すっきりした気持ちで帰ってきました。小学生でもできる地域貢献、小さなことかもしれませんが、誰かに喜んでもらえることをこれからも頑張ります。

○シルバー会員さん 庭木剪定作業

11月10日



今年もシルバー会員さんたちが、校舎まわりの庭木の剪定をしてくださいました。てきぱきと仕事を分担され、松などあっという間に美しい姿に変わりました。ありがとうございました。

○おにぎりの日

11月21日



第3回家庭教育学級「おにぎりの日」を、いいじっ子発表会(学習発表会)の後、親子で実施しました。「おにぎりの日」は、子どもたちが自分のおにぎりを自分で作って持参し、学校で親子で食べるという数年続けてきた取組。

しかし今年は、最近流行している「おにぎらず」も取り組んでみました。事前にレシピ本を各家庭に配布、授業ですべての子どもがおにぎらずを作ってみました。子どもたちには大人気、これまでのおにぎりの常識を越える「具」の入ったおにぎらずがいろいろあったようです。朝の教室では、うれしそうに見せ合う笑顔、「すぐ食べたい！」という声がありました。



行事予定

<12月>

3日(木)子ども展参観、芸能祭(文化センター)
4,7,8,9日(金月火水)個人懇談
10日(木)持久走大会
18日(金)スケート教室

◆表彰のお知らせ(敬称略)

☆おめでとうございます。
ぎふ東濃アートツーリズム
2015絵てがみコンテスト
<くるたん賞> 5年男子
<入選> 6年女子

スマートフォン、携帯電話について

スマホや携帯電話、便利な機能はたくさんあります。しかし、連日世の中で起こるこれらが原因となる事件がたくさん報道されます。メールやゲームなどにより、「返事を送らないと嫌われる。」「退屈しのぎのゲームがやめられなくなる。」など、心や時間が拘束されるという害があります。小中学生にとって必要ではないと学校では考えています。もし、家族の連絡用として必要とするならば、親子で使い方とことん話し合い、子どもを被害者にも加害者にもしないようにしましょう。